

# くしまっ子

## 柔道個人戦、 団体戦で県大会優勝目指す



練習でも常に本気です

串間警察署内にある道場で、練習で汗を流す串間中学校柔道部。男子8人、女子1人、計9人の部員が所属しており、チームのエースである井手翔真くんは、昨年11月に開催された第42回宮崎県中学校秋季体育大会の73kg級で優勝し、今年6月に開催された第70回宮崎県中学校総合体育大会南那珂地区予選でも、同階級で優勝を果たし、県大会での活躍が期待されます。井手くんは、親戚の紹介で柔道の練習を見学した際に、技を決め

ている姿に一目惚れし、5歳から柔道を始め、現在週3日の練習に励んでいます。 「体格差があっても、技術を磨くことで勝つことが出来るのが柔道の魅力です」と井手くん。また、大きな大会で優勝して、両親に喜んでもらえたときは嬉しいし、これからも恩返しをしていきたい」と感謝の気持ちを忘れません。 男子団体戦でも、県大会出場が決まっており、外部指導者コーチの松尾直洋さんは「井手くんを中心として、それぞれの選手が持ち味を生かして優勝してほしい」と活躍に期待します。 「攻めに自信があり、積極的に技を繰り出します」と井手くん。また、「精神面で弱気にならないよう、練習で自分を追い込み、自信を高めてきたので、県大会で優勝して結果を残したい」と活躍を誓います。

「頑張るぞ！」



### 28. 井手 翔真くん

串間中学校3年生、5歳から柔道を始め、幼少時代から数々の大会で優秀な成績を取っており、4月に福岡県で開催された九州選抜中学生大会の団体戦で宮崎県代表として出場。得意技は払い腰と大内刈り。



### 福島 綾乃さん

## 地域おこし協力隊

# 活動日記

vol.28 恋人「レンくん」について



### 最近、恋人ができました。

市役所から駐車場までの脇道にいつもあいさつしてくれる猫がいて「市役所まで送って行ってあげるよ」とか「お疲れさま。3分間だけデートしようよ」と言われているような気持ちになるくらい社会的でかわいいのです。でも私にだけかわいいそぶりをするの

ではなく、通りすがりの人には大体そんな振る舞いをしています。同じく猫が大好きな総務課松本さんの写真撮影に快く応じていたこともあり、私はその猫を心の中で「ナンバくん」と呼んでいました。

ある日、仕事終わりの私を待ち構えるように「ナンバくん」が脇道でスタンバイしていました。帰り道のデートを楽しんでいたら、親御さん、というか飼い主さんが「あ！やっぱりレンくんの彼女だったんだ♥」と一言。「え!? ナンバくん!! 君、本当はレンくんっていう名前だったの!? そして私、君の彼女だったんだね!?!」それからというもの、私は「ナンバく

ん」ではなく「レンくん」と呼ぶようになりました。

ただ、ヤキモチを焼いてしまいます。レンくんは「キャツ」と鳴くからです。それは某メガネCMのお尻でメガネを踏んづけたお姉さんたちが言う「キャツ」に似ています。そう、困ったことにレンくんは「ボクってかわいいでしょ!」と言わんばかりに「キャツ」と愛想を振り舞ってしまうのです。飼い主さん公認の彼女としては気が気ではありません。嫉妬してしまいます。もしかしたら彼女がいつぱいいるかもしれません。

でもそんなレンくんが大好きです(笑)。



## 愛されるお店作りを目指して

### 大人気の手作りサンドイッチ

店の営業は火曜から土曜の週5日、午前11時半から午後2時。夫、祥一さんの妹と2人で店を切り盛りしており、前日の夜に仕込み、当日の早朝に仕込んだ物を完成させます。メニューは、子どもから高齢者まで喜んでもらえるよう地元野菜やフルーツなどを使い、13〜15種類あります。オープン以来、毎回サンドイッチ

の営業は火曜から土曜の週5日、午前11時半から午後2時。夫、祥一さんの妹と2人で店を切り盛りしており、前日の夜に仕込み、当日の早朝に仕込んだ物を完成させます。メニューは、子どもから高齢者まで喜んでもらえるよう地元野菜やフルーツなどを使い、13〜15種類あります。オープン以来、毎回サンドイッチ

「地域の方はもちろんのこと、さまざまな方に愛されるように、新商品を今後も作っていき、何度でも足を運んでもらえるようなお店作りを目指したい。ランチがいつもより少しでも楽しくなってもらえたら嬉しい」と喜多さん。これからも丹精込めた愛情いっぱいサンドイッチ作りは続いていきます。

「地域の方はもちろんのこと、さまざまな方に愛されるように、新商品を今後も作っていき、何度でも足を運んでもらえるようなお店作りを目指したい。ランチがいつもより少しでも楽しくなってもらえたら嬉しい」と喜多さん。これからも丹精込めた愛情いっぱいサンドイッチ作りは続いていきます。



## 串間で活躍する人を 紹介します きらめき図鑑 kirameki

串間駅近くにポップな水色の外装のお店があります。店の名は「手作りサンドイッチなかよし」。店主である喜多るみさんが昨年6月にオープンし、手作りのサンドイッチ目掛けて連日、開店前から多くの人が並びます。 喜多さんは、店をオープンするまでは子育てをしながら、夫、祥一さんが営む喜多米穀店のお手伝いをしていました。子育てがある程度落ち着き、時間に余裕が出来始めた3年ほど前に、祥一さんから、「空いた時間に何か新しいことをしてみたら」と提案があり、「自分も楽しくみんなが元気になるような店を出したい」と思うようになり、以前から興味があった肉や野菜など栄養バランスの良い食事を手軽に取れるサンドイッチ専門店の出店を決め、オープンしました。

「地域の方はもちろんのこと、さまざまな方に愛されるように、新商品を今後も作っていき、何度でも足を運んでもらえるようなお店作りを目指したい。ランチがいつもより少しでも楽しくなってもらえたら嬉しい」と喜多さん。これからも丹精込めた愛情いっぱいサンドイッチ作りは続いていきます。

### 喜多 るみさん (福島地区・仲町)

手作りサンドイッチ「なかよし」の店主。東京都出身。3人の子の母であり、休みの日に小学生の息子と出かけるのが楽しみの1つ。



ポップでおしゃれな外観



色鮮やかな商品が並び